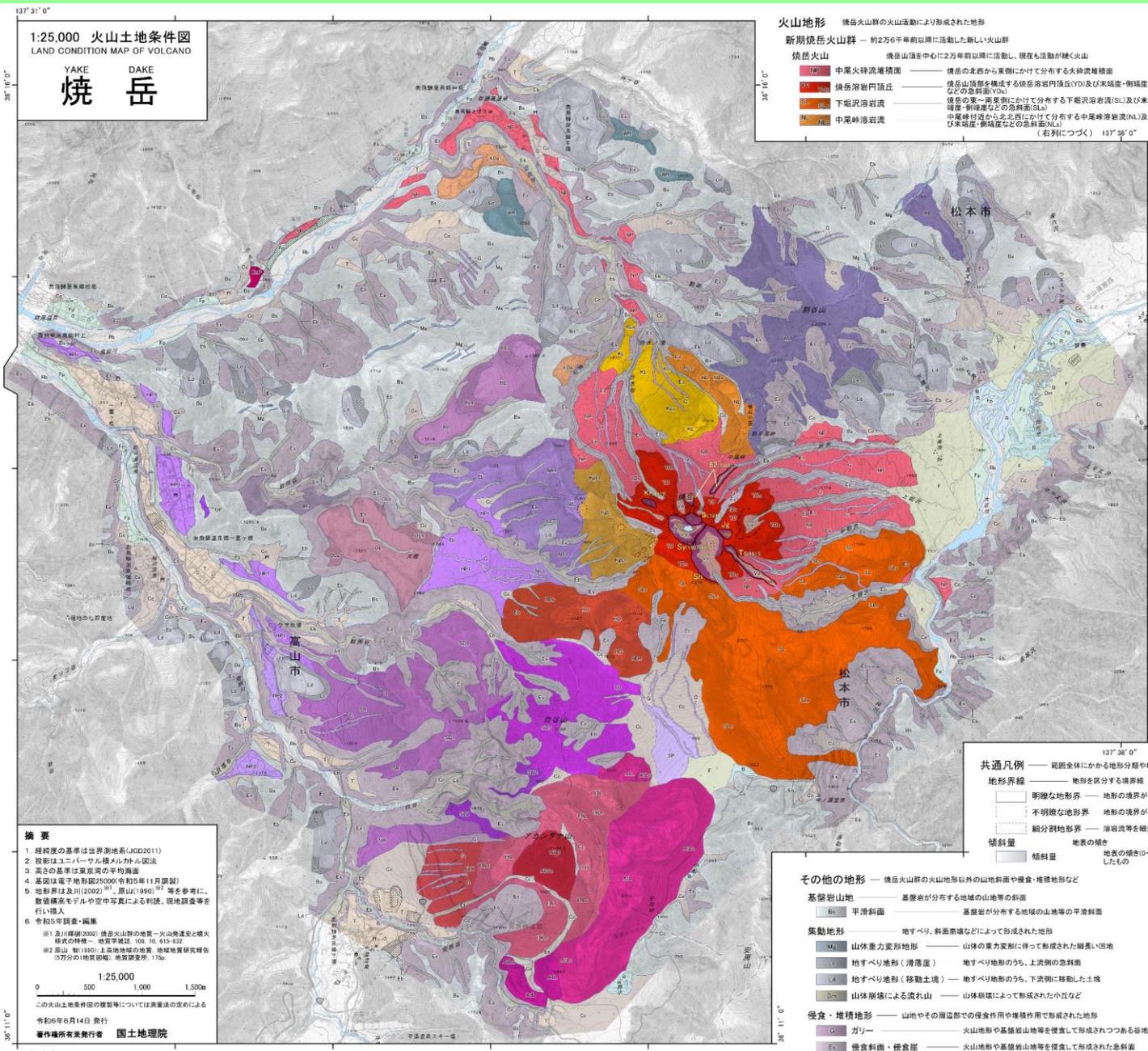


1:25,000火山土地条件図「焼岳」



1:25,000 火山土地条件図
LAND CONDITION MAP OF VOLCANO

焼岳

- 火山地形** 焼岳火山群の火山活動により形成された地形
- 新期焼岳火山群** 約2万6千年前以降に活動した新しい火山群
- 焼岳火山** 焼岳山頂を中心とした2万年前以降に活動し、現在も活動が続く火山
- 中層火砕流堆積面 焼岳の北西から東側にかけて分布する火砕流堆積面
 - 焼岳溶岩円頂丘 焼岳山頂を構成する焼岳溶岩円頂丘(YD)及び末端崖・側溝崖などの急斜面(YD)
 - 下層沢溶岩流 焼岳の南-西側にかけて分布する下層沢溶岩流(SL)及び末端崖・側溝崖などの急斜面(SL)
 - 中層峠溶岩流 中層峠付近から北西にかけて分布する中層峠溶岩流(NL)及び末端崖・側溝崖などの急斜面(NL)

- (左列のつづき)
- 焼岳溶岩円頂丘 焼岳の南西側に位置する焼岳溶岩円頂丘(YD)及び末端崖・側溝崖などの急斜面(YD)
 - 黒岩岩屑なだらけ地 中層火砕流堆積面上に高位に位置する岩屑なだらけ地
 - 黒岩溶岩流 中層の北側に分布する黒岩溶岩流(KL)及び末端崖・側溝崖などの急斜面(KL)
 - 小糸谷火砕流堆積面 蒲田川沿いの小糸谷の谷出口付近にみられる火砕流堆積面
 - 黒岩溶岩流 焼岳山頂の南-西側に位置する黒岩溶岩流(KL)及び末端崖・側溝崖などの急斜面(KL)
- 火口等** 焼岳山頂周辺に分布する火口に関連する地形
- 明瞭な火口縁 山頂付近の火口のうろ形状が明瞭な火口の外縁
 - 不明瞭な火口縁 山頂付近の火口のうろ形状が不明瞭な火口の外縁
 - 推定火口の火口縁 火口の可能性がある凹地や陥伏の高まりの外縁
 - 火口略記号と形成年等 山頂付近の主要な火口に付加した略記号と形成年や活動年
- 52: 1962年火口
 K: 黒岩火口(1918年形成)
 T: 大正港火口(1918年形成)
 L: 黒岩火口(1918年形成)

- 火口壁 火口の内に形成された急斜面
- 火口内の砕岩物堆積斜面 火口から噴出した砕岩物や火口壁の崩壊堆積物等からなる斜面
- 火口底 火口の下部に形成された平坦地

- アカダナ火山** アカダナ山を中心とする1万年前以降に活動した火山
- アカダナ溶岩円頂丘 アカダナ山の主峰を中心としたアカダナ溶岩円頂丘(AAD)及び末端崖・側溝崖などの急斜面(AAD)
 - 安房峠溶岩流 アカダナ山の東側の安房峠周辺に位置する安房峠溶岩流(AAL)及び末端崖・側溝崖などの急斜面(AAL)
 - 安房谷溶岩流 190m峠谷の南側に位置する安房谷溶岩流(AV)及び末端崖・側溝崖などの急斜面(AV)
 - アカダナ火砕岩堆積斜面 アカダナ山の西側山腹に分布する火砕岩堆積斜面
 - 190m峠溶岩流 アカダナ山の活動初期に噴出した190m峠溶岩流(19L)及び末端崖・側溝崖などの急斜面(19L)
- 白谷山火山** 白谷山を中心とする新期焼岳火山群の中で古い火山
- 平湯川火砕流堆積面 II 主に白谷山の西側に分布する火砕流堆積面群(低位の面)
 - 平湯川火砕流堆積面 I 主に白谷山の西側に分布する火砕流堆積面群(高位の面)
 - 上地ヶ根火砕流堆積面 上地ヶ根集落の東側にみられる火砕流堆積面
 - 白谷山火砕流堆積面(標準) 白谷山の東側に分布する火砕流堆積面と推定される地形
 - 白谷山火砕岩堆積斜面 白谷山の南-西側山腹に分布する火砕岩堆積斜面
 - 白谷山溶岩円頂丘 III 白谷山山頂付近に分布する白谷山門頂丘溶岩円頂丘により形成された溶岩円頂丘の平坦急斜面
 - 白谷山溶岩円頂丘 II 白谷山山頂の南側に分布する白谷山門頂丘溶岩円頂丘により形成された溶岩円頂丘の平坦急斜面
 - 白谷山溶岩円頂丘 I 白谷山山頂の西側に分布する白谷山門頂丘溶岩円頂丘により形成された溶岩円頂丘の平坦急斜面

- 旧期焼岳火山群** 約12万年前から約7万年前にかけて活動した火山群
- 割谷山火山** 約7万年前に活動した火山群
- 岩坪岩屑溶岩流 岩坪谷上流右岸に分布する溶岩円頂丘の岩坪岩屑溶岩流(L)及び末端崖・側溝崖などの急斜面(L)
 - 割谷山火砕岩堆積斜面 足流谷の左右岸の縁付道にみられる火砕岩堆積斜面
 - 割谷山溶岩流 割谷山とその周辺に分布する溶岩流の平坦急斜面
- 岩坪山火山** 約9万年前に活動した火山群
- 岩坪山溶岩流 岩坪谷溶岩流の北側に位置する合鞍形地を呈する岩坪山溶岩流(L)及び末端崖・側溝崖などの急斜面(L)
- 大榎山火山** 約12万年前に活動した火山群
- 大榎溶岩流 焼岳火山の南側に位置する大榎溶岩流(O)及び末端崖・側溝崖などの急斜面(O)
 - 岩坪谷火砕岩堆積斜面 岩坪谷流域でみられる火砕岩堆積斜面

- 共通凡例** nationwide 国全体から地形分類や地形表現
- 地形界線** 地形を区分する境界線
- 明瞭な地形界 地形の境界がはっきりしているもの
 - 不明瞭な地形界 地形の境界がはっきりしていないもの
 - 細分別地形界 溶岩流等を細分する境界線
 - 傾斜量 傾斜量 地表の傾き(0°~90°)をグーグレーションで表現したもの
- (共通凡例のつづき)**
- 河川・湖沼 河川の水や止水水
 - 水部 現在の水面(地形図等に示された水面)
 - 人工改変地形 人工的に改変された地形
 - 切土地 人工的に削り取らせた箇所
 - 盛土地 道路や施設に用いるために人工的に盛土した箇所

摘要

1. 経緯度の基準は世界測地系(JGD2011)
2. 投影はユニバーサル横断メルカトル法
3. 高さの基準は東京湾の平均海面
4. 基礎は電子地形図(2006年令和5年11月最新)
5. 地形界は及川(2002)・原山(1990)等を参考に、数値標高モデルや空中写真による判断、現地調査等を行い編入
6. 令和5年調査・編集

※1: 及川(2002) 焼岳火山群の地質-火山噴出物と噴火様式の特徴 - 地質学雑誌, 108, 10, 915-932
 ※2: 原山 編(1990) 上高地地域の地質, 地質学研究所報告 57巻の1(地質図説), 地質学研究所

1:25,000
0 500 1,000 1,500m

令和6年6月14日 発行
製作編者 国土地理院

- その他の地形** 焼岳火山群の火山活動以外の山地や侵食・堆積地形など
- 基礎岩山地** 基礎岩が分布する地域の山地等の斜面
- 平滑斜面 基礎岩が分布する地域の山地等の平滑斜面
- 集積地形** 地すべり、崩壊等によって形成された地形
- 山体重力変形地形 山体の重力変形に伴って形成された細長い凹地
 - 地すべり地形(滑降崖) 地すべり地形のうち、上流側の急斜面
 - 地すべり地形(移動土塊) 地すべり地形のうち、下流側に移動した土塊
 - 山体崩壊による流れ山 山体崩壊によって形成された小丘など
- 侵食・堆積地形** 山地やその周辺部での侵食作用や堆積作用で形成された地形
- ガリ 火山地形や基礎岩山地等を侵食して形成された谷地形
 - 侵食斜面・侵食崖 火山地形や基礎岩山地等を侵食して形成された急斜面
- (侵食・堆積地形のつづき)
- 侵食谷 火山地形や基礎岩山地等を侵食する谷地形の谷道部分
 - 山麓堆積地形 斜面の下方又は谷の出口等に岩屑等が堆積してできた地形
- 河成地形** 河川的作用で形成された地形
- 台地・段丘 扇状地や氾濫野・谷底低地等が溜りた台状の地形
 - 扇状地 谷出口の下流側に土砂が溜りた扇状地
 - 氾濫野 河川の堆積作用によって形成された起伏の小さい低平地
 - 窪地 河川・湖沼の退却や地形等に帯びた窪地
 - 旧河道 氾濫野から切り離された過去の河道の跡
 - 河川谷・沢 砂や礫等に覆われた河原や瀬など